

# 資料編

大阪府流域下水道のあゆみ	1
全体計画と整備状況	3
大阪府の下水道計画図	5
人口の推移と下水道普及率	6
事業費の推移	7
施設整備の推移	8
維持管理	9
流域別下水道普及率と環境基準点での水質の推移	10
組織の変遷	15
公共下水道のあゆみ	17
大阪府内市町村別下水道普及率	19
大阪府内市町村の下水道事業費の推移	20

# 大阪府流域下水道のあゆみ

年度	下水道のあゆみ	普及率 (府/全国)	備考
1964 昭和39年	・ 土木部計画課下水道係が発足		第一次 五箇年 計画 S38～S41
1965 昭和40年	・ 全国で初めて寝屋川流域で流域下水道事業に着手 ・ 広域下水道建設事務所設置	／8.0	
1966 昭和41年	・ 猪名川流域下水道に事業着手 ・ 事業主体を一部事務組合などに変更		
1967 昭和42年	・ 万博関連事業として安威川流域下水道に事業着手 ・ 土木部都市整備課に下水道計画係、下水道事業係を置く		第二次 五箇年 計画 S42～S45
1968 昭和43年	・ 事業主体を再度大阪府とする	31.0／ ※1	
1969 昭和44年	・ 猪名川流域として原田処理場通水（流域下水道として全国処理開始第1号） ・ 安威川流域中央処理場が供用開始（流域下水道の新設供用開始第1号）	34.9／ ※1	
1970 昭和45年	・ 淀川右岸流域及び大和川下流流域下水道に事業着手 ・ 土木部下水道課として独立	37.4／14.0 ※1	第三次 五箇年 計画 S46～S50
1971 昭和46年	・ 淀川左岸流域下水道に事業着手	30.9／ ※1	
1972 昭和47年	・ 寝屋川流域鴻池処理場、川俣処理場が供用開始 ・ 豪雨により東部大阪地域で大規模な浸水被害発生	38.2／ ※1	
1973 昭和48年	・ 南大阪湾岸流域下水道に事業着手	40.4／ ※1	第四次 五箇年 計画 S51～S55
1975 昭和50年	・ 淀川右岸流域として高槻処理場が供用開始	48.7／22.8	
1977 昭和52年	・ 大阪府の下水道普及率が50%を超える	50.6／25.7	
1980 昭和55年	・ 大和川下流流域として狭山処理場が供用開始	53.1／29.5	第五次 五箇年 計画 S56～S60
1982 昭和57年	・ 豪雨により大和川流域などで大規模な浸水被害発生	54.5／32.1	
1985 昭和60年	・ 大和川下流流域今池処理場が供用開始 ・ チェリープラン策定（毎年桜の開花時期に処理場を新增設し国際都市大阪にふさわしい基盤整備を行う）	57.5／36.0	
1986 昭和61年	・ 大和川下流流域大井処理区の今池処理場での暫定処理開始	58.7／37.0	第六次 五箇年 計画 S61～H2
1987 昭和62年	・ 南大阪湾岸流域南部処理区の事業着手により7流域12処理区全てで事業着手 ・ 南大阪湾岸流域北部処理場が供用開始	60.0／39.0	
1989 平成元年	・ 淀川左岸流域渚処理場が供用開始（初の高度処理） ・ 南大阪湾岸流域中部処理場が供用開始 ・ 下水道ふれあいプラザ（下水道記念館）完成	62.9／42.0	
1991 平成3年	・ 21COSMOS計画（21世紀を目指す大阪府下水道整備基本計画）策定 ・ 寝屋川流域下水道において雨水レベルアップ計画策定 ・ 水処理施設上部を整備した「鴻池スカイランド」を利用して「第1回大阪府下水道フェスティバル」を開催	66.8／45.0	第七次 五箇年 計画 H3～H7
1992 平成4年	・ ミラクルプラン（大阪府流域下水道資源リサイクル計画）策定	68.5／47.0	
1993 平成5年	・ 南大阪湾岸流域南部処理場が通水し全流域供用開始（初の窒素リン対応の高度処理） ・ 能勢町、千早赤阪村の着手により府内全市町村が事業着手 ・ 安威川流域中央処理場でスラグストーン（下水污泥溶解スラグ）の販売開始 ・ 大阪府の下水道普及率が70%を超える	70.4／49.0	

1994 平成 6 年	・ 淀川左岸流域渚処理場の「トンボの楽園」が建設大臣いきいき下水道賞受賞	72.3 / 51.0
1995 平成 7 年	・ 大和川下流域狭山処理場でアシュレン（下水汚泥焼成レンガ）の販売開始 ・ 寝屋川流域なわて水環境保全センターに着手 ・ 阪神・淡路大震災が発生	74.4 / 54.0
1996 平成 8 年	・ 大和川下流域大井処理場の通水により全処理区の処理場で供用開始	76.4 / 55.0
1997 平成 9 年	・ 寝屋川流域川俣処理場の「川俣スカイランド」が建設大臣いきいき下水道賞受賞 ・ 寝屋川流域竜華水環境保全センターに着手	78.3 / 56.0
1999 平成 11 年	・ 淀川左岸流域渚処理場の淀川への暫定放流を解消し本来計画の寝屋川への放流を開始 ・ 大阪府下水道フェスティバルの一環として「第 1 回全国水の俳句大会」を開催	82.4 / 60.0
2000 平成 12 年	・ 大阪府内で毎年下水道促進デー期間中に行っている「下水道フェスティバル」が建設大臣いきいき下水道賞受賞 ・ 大阪湾流域別下水道整備総合計画の大臣同意を得る（旧流総） ・ 大阪府流域下水道研究会から今後の流域下水道のあり方について提言が出される	84.6 / 62.0
2001 平成 13 年	・ ROSE PLAN（21世紀の大阪府下水道整備基本計画）策定 ・ 能勢浄化センター供用開始により全国で初めて府内全市町村が供用開始	86.3 / 63.5
2002 平成 14 年	・ 寝屋川流域下水汚泥処理事業に着手	88.0 / 65.2
2003 平成 15 年	・ 淀川左岸流域、南大阪湾岸流域において A C E 事業から流域下水汚泥処理事業を承継	89.1 / 66.7
2004 平成 16 年	・ 合流式下水道緊急改善計画策定 ・ 大阪府の下水道普及率が 90%を超える	90.1 / 68.1
2005 平成 17 年	・ 淀川左岸流域渚処理場で高度処理水を利用した「なぎさ試験田」が国土交通大臣いきいき下水道賞受賞 ・ 大阪府下水道ボランティア設立	90.8 / 69.3
2006 平成 18 年	・ 下水処理場の名称を『水みらいセンター』に変更	92.1 / 70.3
2007 平成 19 年	・ 下水道地震対策緊急整備計画策定	92.7 / 71.3
2008 平成 20 年	・ 流域下水道の建設・維持管理を一元化（運営体制の見直し、流域下水道協議会発足、特別会計の設置） ・ 下水道室に改組 経営企画課、事業課の二課体制 ・ 南大阪湾岸流域下水道事務所を南部流域下水道事務所に統合	93.2 / 72.7
2009 平成 21 年	・ 合流式下水道緊急改善計画（見直し）策定 ・ 南大阪湾岸流域南部水みらいセンター 社会見学普及率 100% 国土交通大臣循環のみち下水道賞受賞	93.7 / 73.3
2010 平成 22 年	・ 大阪湾流域別下水道整備総合計画の大臣同意を得る（現流総） ・ 寝屋川流域なわて水みらいセンター、竜華水みらいセンター供用開始 ・ 大和川下流域今池水みらいセンター 省エネ大賞（経済産業大臣賞）受賞	94.3 / 75.1 ※2
2011 平成 23 年	・ 大阪府流域下水道経営ビジョン策定（公営企業会計導入の検討を位置づけ） ・ 寝屋川南部流域 下水道増補幹線と地下河川の一体貯留運用開始	94.6 / 75.8 ※2
2012 平成 24 年	・ 市町村と協同で「流域下水道の経営安定化に向けた勉強会」を開始 ・ 寝屋川流域竜華水みらいセンター 上部利用施設「ゼビオスポーツウング宝寺」供用	95.0 / 76.8 ※2
2013 平成 25 年	・ 南大阪湾岸流域南部水みらいセンターメガソーラー発電開始（下水処理場エネルギー拠点化）	95.3 / 77.0 ※2
2014 平成 26 年	・ 寝屋川流域ポンプ運転調整ルール適用開始	95.6 / 77.6 ※2
2015 平成 27 年	・ 流域下水道事業着手から 50 年を迎える ・ 流域下水道新マンホールふたのデザインを公募により決定	

第八次  
七箇年  
計画  
H8～H14

第一次  
社会資本  
整備重点  
計画  
H14～H19

第二次  
社会資本  
整備重点  
計画  
H20～H24

第三次  
社会資本  
整備重点  
計画  
H24～H28

※1) 1973(昭和 48)年以前の大阪府の普及率は面積普及率。

※2) 2010(平成 22)年の全国の普及率は、東日本大震災の影響で岩手県、宮城県、福島県において調査不能な市町村があるため、3 県を除いた値。

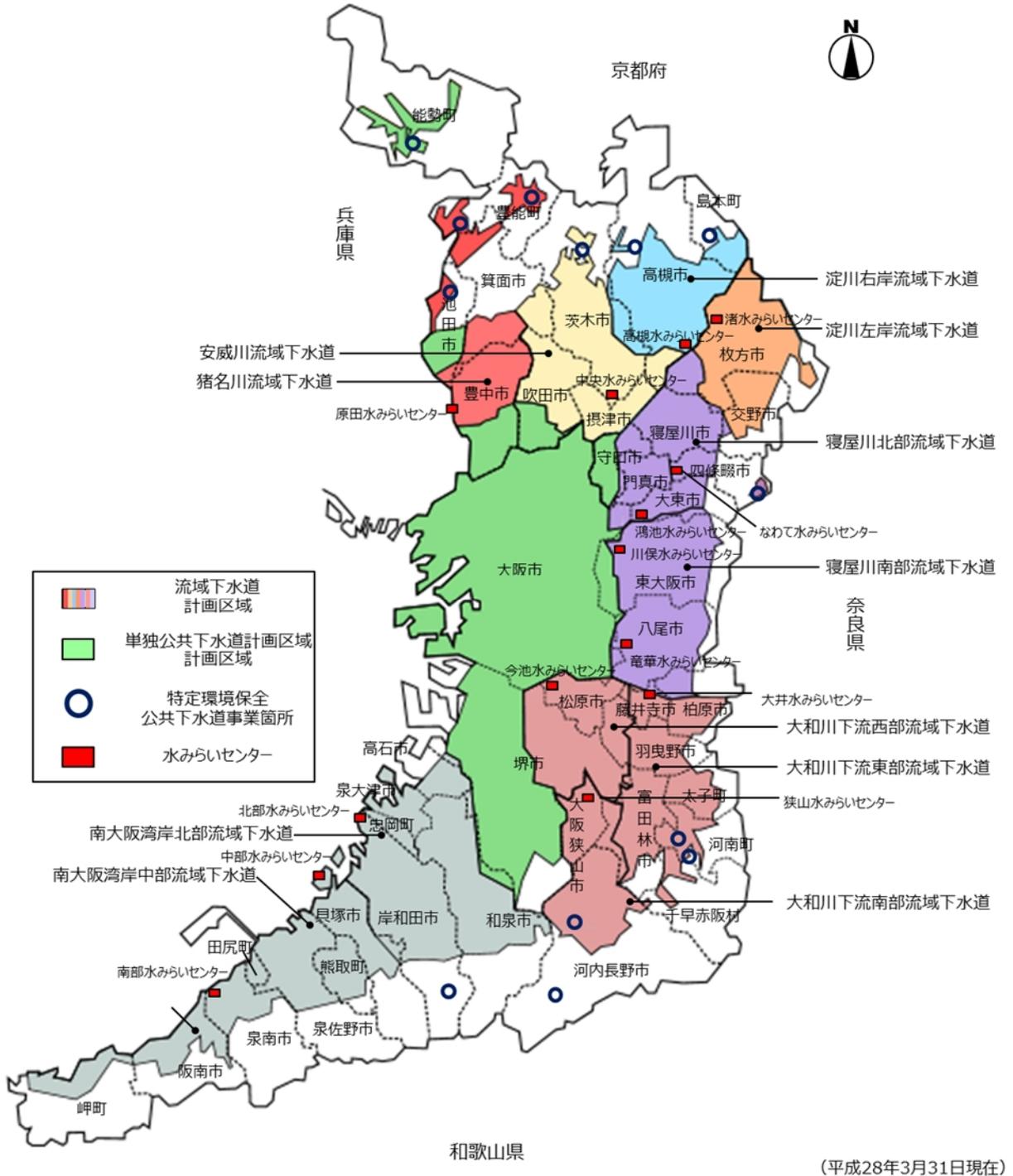
2011(平成 23)年は、岩手県、福島県を除いた値。2012(平成 24)年以降は、福島県を除いた値。

## 全体計画と整備状況

区分		流域名				寝屋川		
		猪名川	安威川	淀川右岸	淀川左岸	北部	南部	
全体計画	区域面積 (ha)	[11,981]			[5,999]			
		5,518	8,753	5,028	5,882	6,917	8,917	
	処理人口 (万人)	[73.5]			[41.5]			
		37.1	58.4	37.0	40.2	61.9	74.2	
	事業内容	管渠延長 (km)	[57.8]				(37.1)	(40.8)
			41.7	54.5	36.7	21.9	93.9	106.9
ポンプ場(ヶ所)		—	4	2	1	9	9	
処理場名		原田	中央	高槻	渚	鴻池・なわて	川俣・竜華	
処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	[389,000]			[221,210]	鴻池 186,000	川俣 341,800		
	184,310	329,500	196,430	214,310	なわて 143,800	竜華 135,200		
平成26年度末迄	管渠延長 (km)					(21.0)	(29.0)	
		41.7	54.5	36.7	21.7	77.8	95.3	
	ポンプ場(ヶ所)		4	2	1	9	9	
	処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	[390,500]						
	203,610	256,110	189,730	170,280	369,000	449,000		
事業費(億円)	908	2,459	1,797	1,139	3,030	4,285		
関係都市		豊中市	茨木市	高槻市	枚方市	大阪市	大阪市	
		池田市	吹田市	茨木市	交野市	守口市	大東市	
		箕面市	高槻市	島本町		門真市	八尾市	
		豊能町	箕面市			枚方市	東大阪市	
			摂津市			寝屋川市	柏原市	
			豊中市			大東市	藤井寺市	
						交野市		
						四條畷市		
	3市1町	6市	2市1町	2市	9市	6市		
処理開始年月日	(41年4月)	(45年3月)	(44年8月)					
	47年7月	47年7月	50年7月	元年4月	47年7月	47年7月		
備考	40年度より調査、41年度より事業実施中(公共下水道として39年度より実施)	41年度より調査、42年度より事業実施中	41年度より調査、45年度より事業実施中(一部を公共下水道として42年度より実施)	45年度より調査、46年度より事業実施中	38年度より調査、40年度より事業実施中	39年度より調査、41年度より事業実施中		
	[注] 猪名川流域の[ ]書きは兵庫県を含む。			[注] 淀川左岸流域の[ ]書きは京都府八幡市を含む。	[注] 寝屋川流域の( )書きは、増補管・直送管で内書き。			

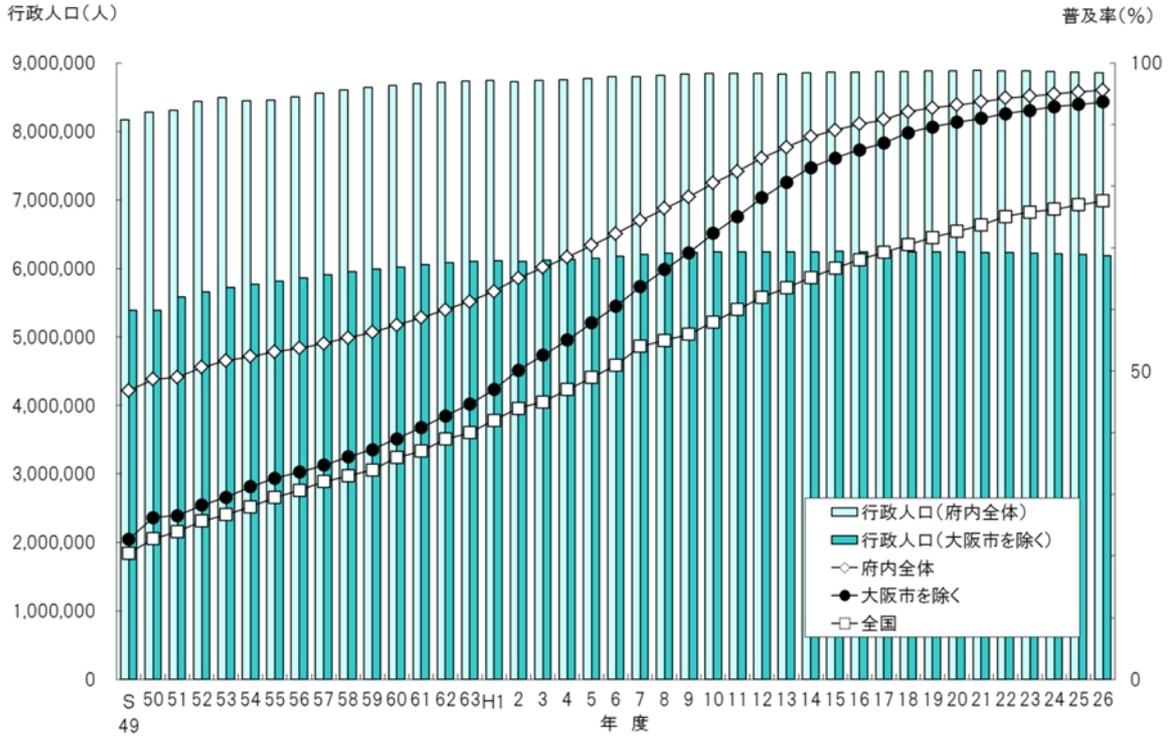
大和川下流			南大阪湾岸			合 計
西部	東部	南部	北部	中部	南部	
						[89,462]
6,251	6,816	5,139	12,625	6,744	4,292	82,882
						[527.1]
38.1	23.8	21.1	54.2	24.7	13.8	489.4
						(77.9)
50.8	51.8	26.5	55.9	29.6	24.0	593.1
—	2	2	1	—	2	32
今池	大井	狭山	北部	中部	南部	
						[2,885,250]
200,180	127,360	106,010	290,260	149,840	68,660	2,673,660
						(50.1)
48.4	50.6	26.5	54.0	29.6	24.0	560.7
—	2	2	1	—	2	32
138,000	75,000	111,500	212,700	70,200	25,400	2,270,530
1,889	1,070	834	1,326	823	653	20,213
大阪市	八尾市	富田林市	堺市	岸和田市	泉南市	33市 8町 1村
松原市	柏原市	河内長野市	泉大津市	貝塚市	阪南市	
堺市	富田林市	大阪狭山市	和泉市	泉佐野市	泉佐野市	
堺市	藤井寺市		高石市	泉南市	岬町	
八尾市	羽曳野市		岸和田市	熊取町		
藤井寺市	堺市		貝塚市	田尻町		
羽曳野市	河南町		忠岡町			
大阪狭山市	太子町					
	千早赤阪村					
8市	6市2町1村	3市	6市1町	4市2町	3市1町	
		(42年12月)				( )は公共下水道として処理開始
60年6月	61年11月	55年7月	62年4月	元年4月	5年7月	
41年度より調査、45年度より事業実施中 (一部を公共下水道として42年度より実施)	41年度より調査、49年度より事業実施中	41年度より調査、48年度より事業実施中 (一部を公共下水道として42年度より実施)	45年度より調査、48年度より事業実施中	45年度より調査、55年度より事業実施中	45年度より調査、62年度より事業実施中	

# 大阪府の下水道計画図

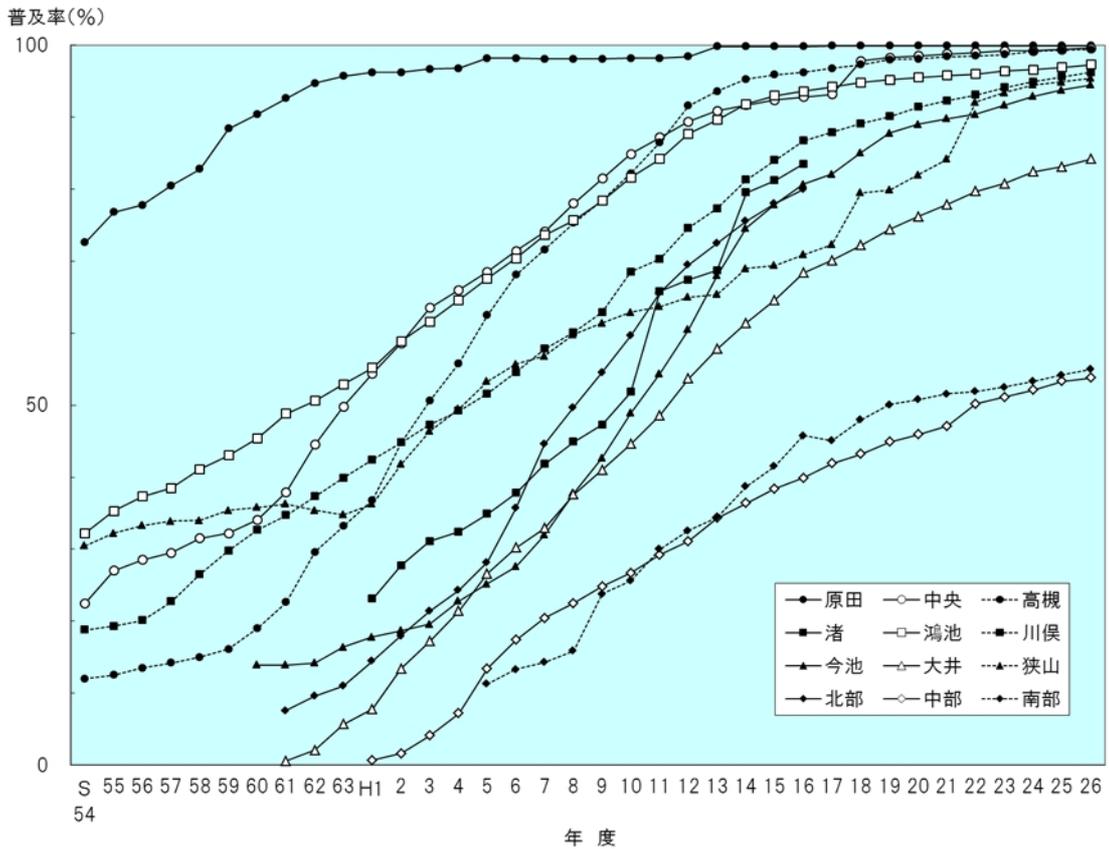


# 人口の推移と下水道普及率

## ▶ 大阪府内の行政人口と普及率



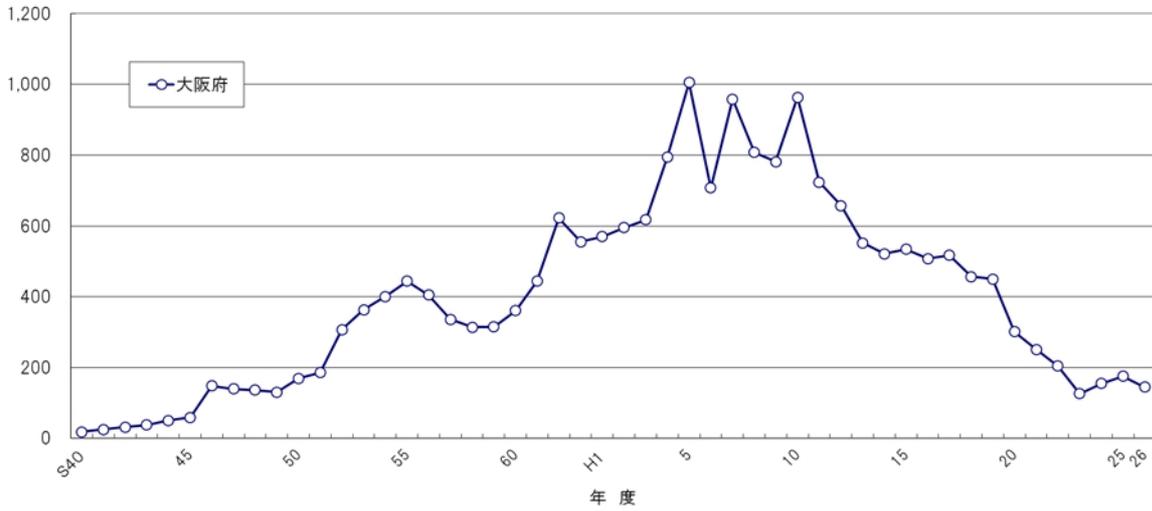
## ▶ 処理区別普及率



# 事業費の推移

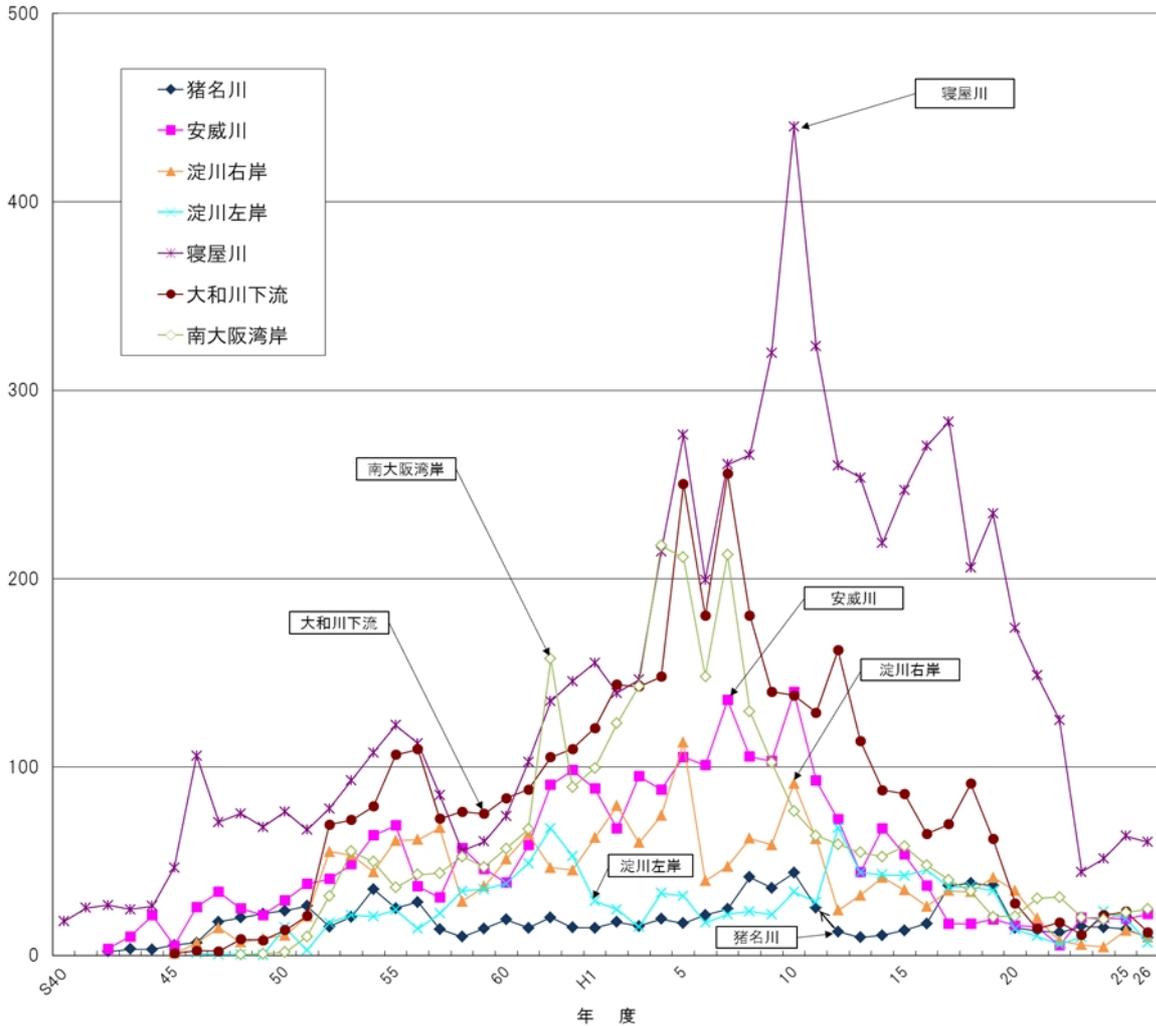
## ▶ 大阪府流域下水道の事業費

事業費(億円)



## ▶ 流域別事業費

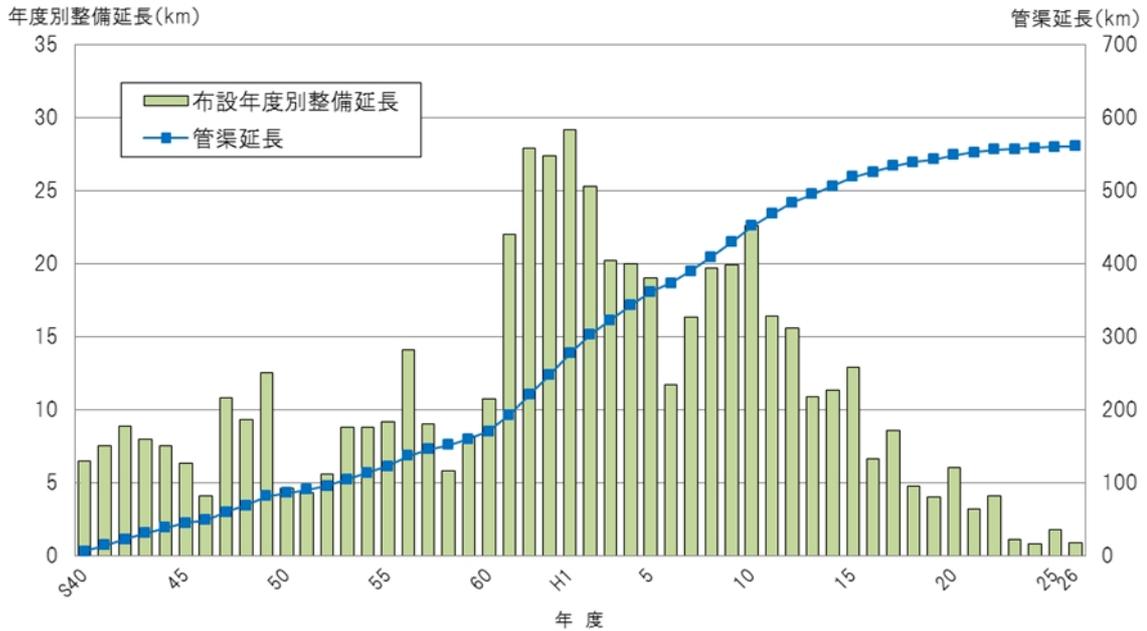
事業費(億円)



## 施設整備の推移

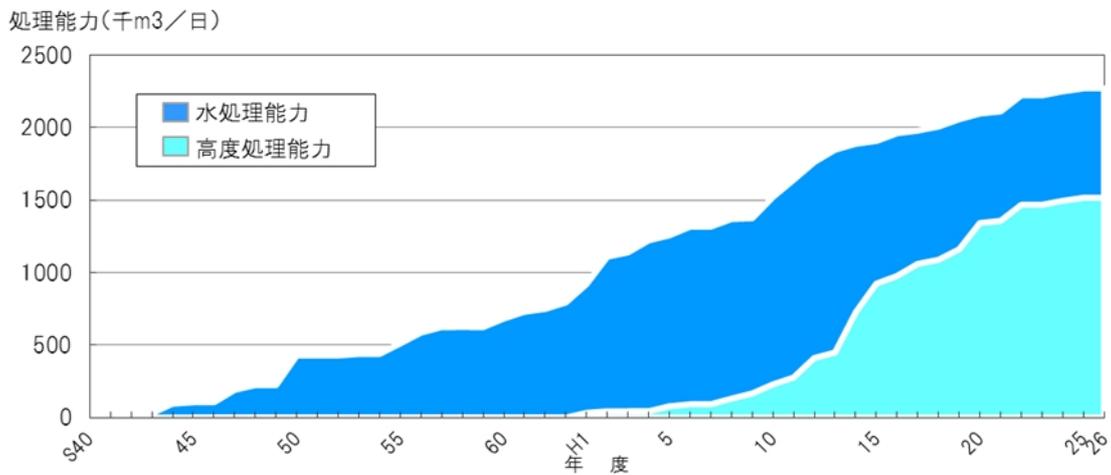
### ▶ 管渠延長

(全体計画: km、H26年度末: km、進捗率 %)



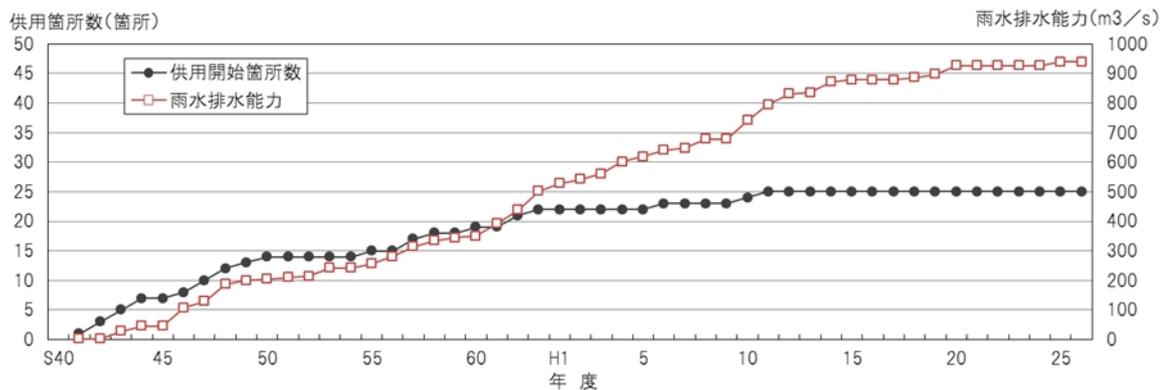
### ▶ 水処理能力、高度処理能力

(全体計画: 千 m<sup>3</sup>/日、H26年度末: 千 m<sup>3</sup>/日、進捗率 %)



### ▶ 雨水排水能力

(全体計画: m<sup>3</sup>/秒、H26年度末: m<sup>3</sup>/秒、進捗率 %)

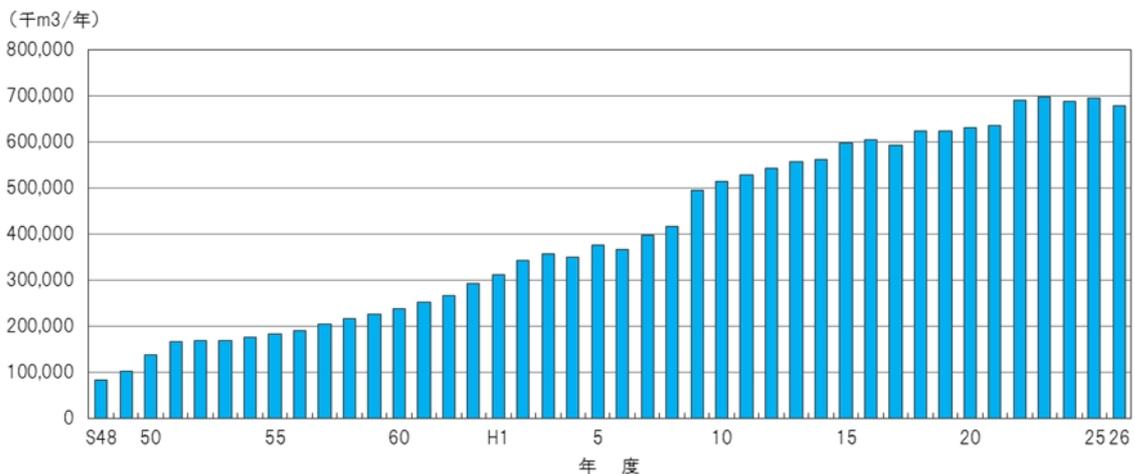


## 維持管理

### ▶ 協定書締結年月日及び維持操作事務主体

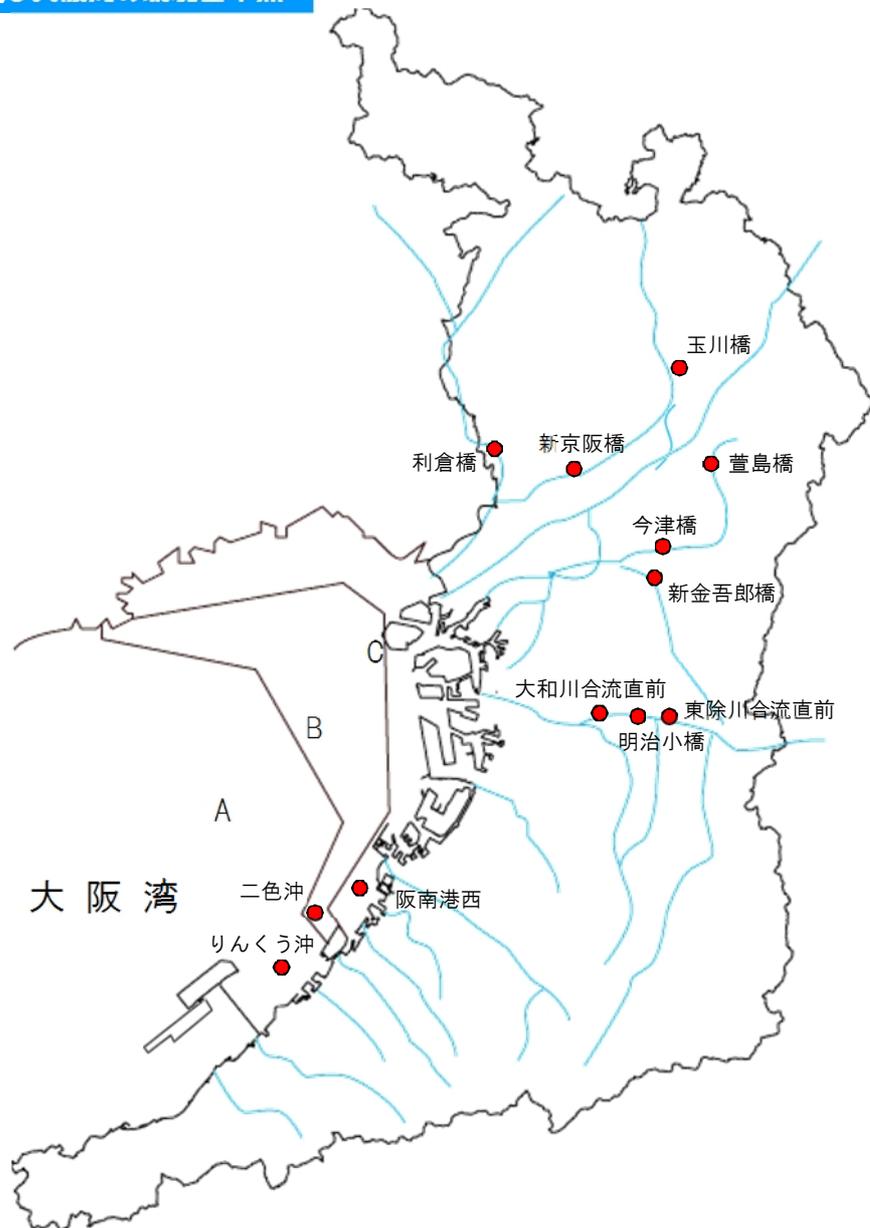
流域下水道	流域関連市町村	締結年月日	維持操作事務主体	設立年月日	備考
猪名川流域下水道	豊中市、池田市、箕面市、豊能町	S47.4.1	豊中市		
安威川流域下水道	吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、豊中市	S47.6.15	安威川・淀川右岸流域下水道組合	S44.11.1	H20.4.1より維持操作主体は大阪府（一元化に伴い協定廃止）
淀川右岸流域下水道	高槻市、茨木市、島本町	S47.6.15			
淀川左岸流域下水道	枚方市、交野市	S62.12.1	淀川左岸流域下水道組合	S63.8.1	
寝屋川北部流域下水道	大阪市、守口市、寝屋川市、門真市、大東市、枚方市、東大阪市、四條畷市、交野市	S47.6.15	寝屋川北部広域下水道組合	S41.5.6	
寝屋川南部流域下水道	大阪市、東大阪市、八尾市、大東市、柏原市、藤井寺市	S47.6.15	寝屋川南部広域下水道組合	S42.7.1	
大和川下流流域下水道	大阪市、堺市、富田林市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、河内長野市、大阪狭山市、河南町、太子町、八尾市、千早赤阪村	S47.6.15 S55.2.1 追加	大和川下流流域下水道組合	S55.4.1	
南大阪湾岸北部流域下水道	堺市、泉大津市、和泉市、高石市、岸和田市、貝塚市、忠岡町	S58.3.1	南大阪湾岸北部流域下水道組合	S61.8.1	
南大阪湾岸中部流域下水道	岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、熊取町、田尻町	S62.8.1	南大阪湾岸中部流域下水道組合	S63.8.1	
南大阪湾岸南部流域下水道	泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町	H3.9.2	南大阪湾岸南部流域下水道組合	H4.8.1	

### ▶ 流域下水処理場処理水量の変遷



## 流域別下水道普及率と環境基準点での水質の推移

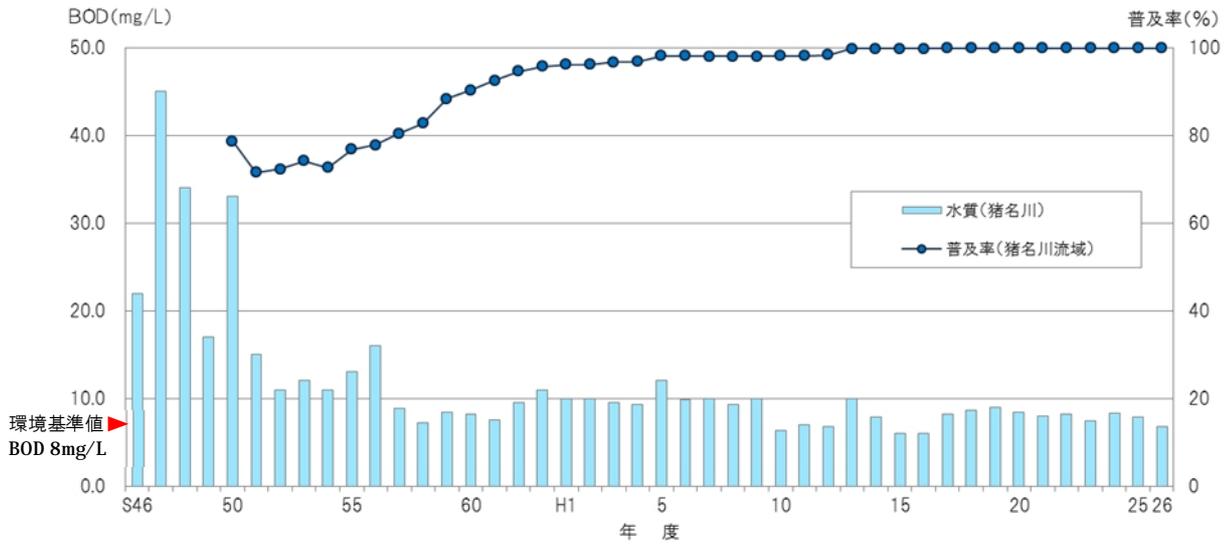
### ▶ 各河川及び大阪湾の環境基準点



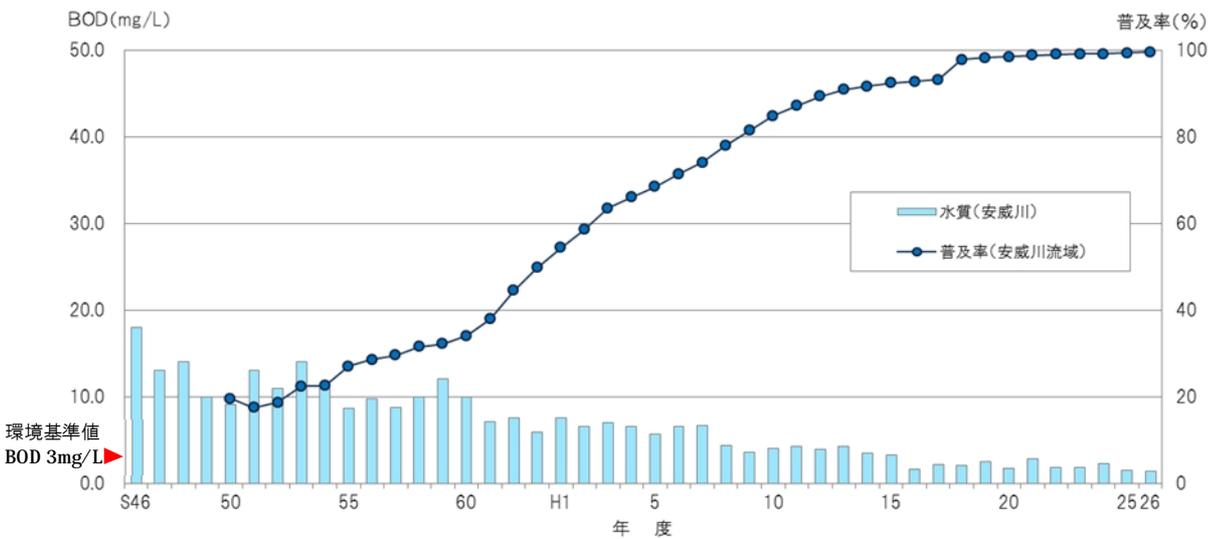
河川	測定地点	測定項目	環境基準水域類型
猪名川	利倉橋	BOD	D(8)
安威川	新京阪橋	BOD	B(3)
番田井路	玉川橋	BOD	
寝屋川	萱島橋	BOD	C(5)
寝屋川	今津橋	BOD	D(8)
第二寝屋川	新金吾郎橋	BOD	D(8)
西除川	大和川合流直前	BOD	D(8)
落堀川	東除川合流直前	BOD	
東除川	明治小橋	BOD	C(5)
大阪湾(1)	阪南港西	COD	C(8)
大阪湾(2)	二色沖	COD	B(5)
大阪湾(3)	りんくう沖	COD	A(2)

※環境基準水域類型の（ ）内の数字は、環境基準値（BOD、COD(mg/L)）を示す。

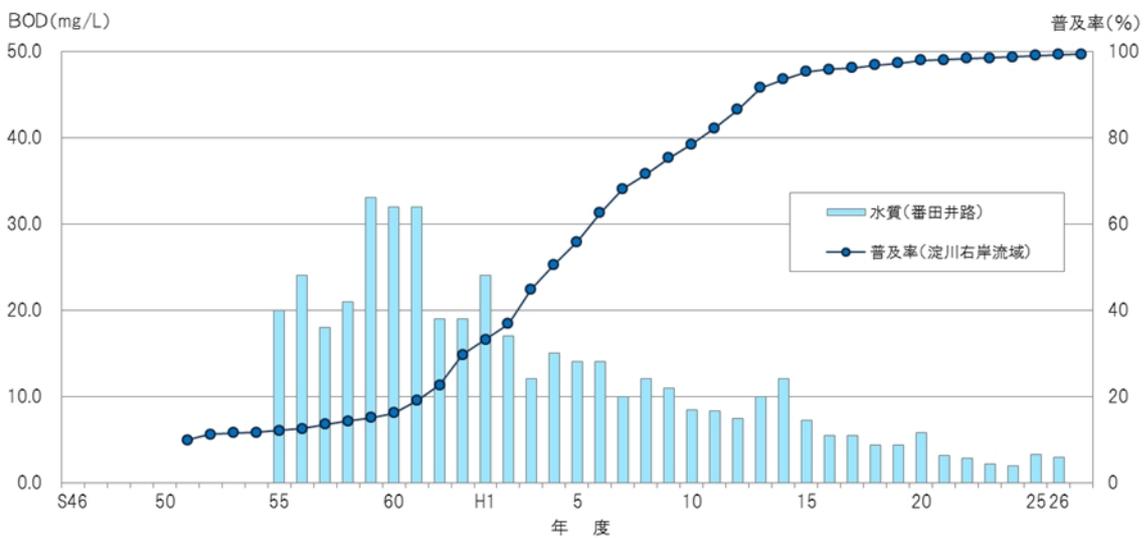
### 猪名川流域（猪名川 利倉橋）



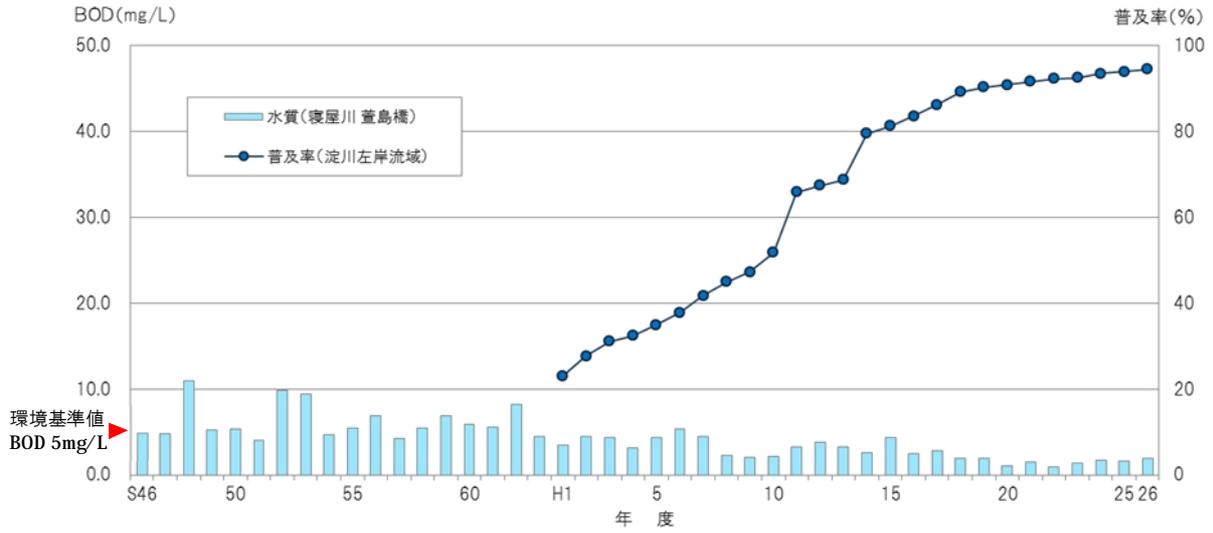
### 安威川流域（安威川 新京阪橋）



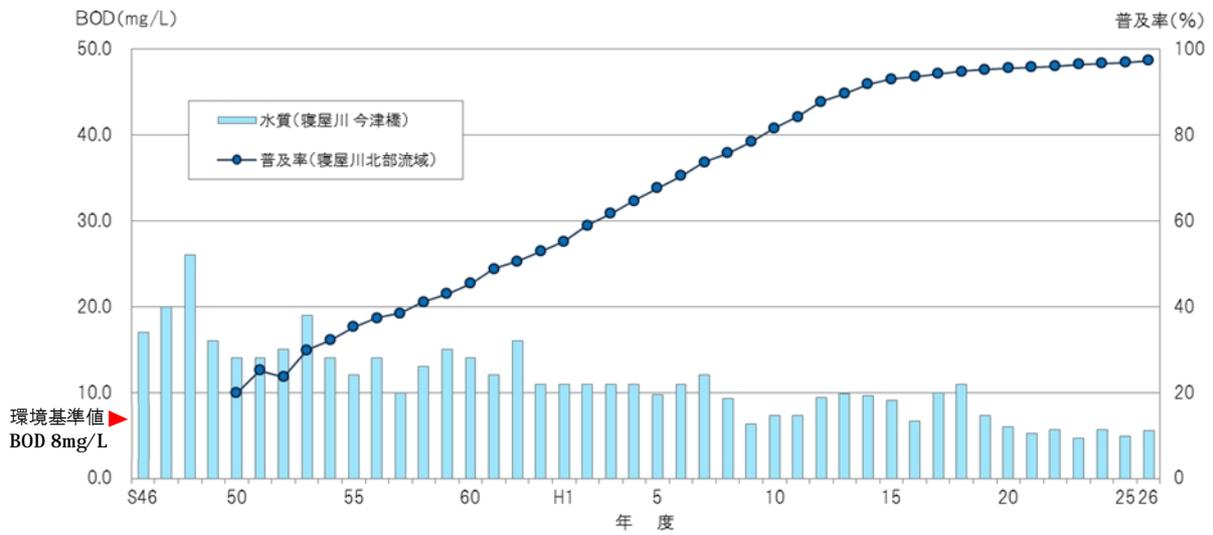
### 淀川右岸流域（番田井路 玉川橋）



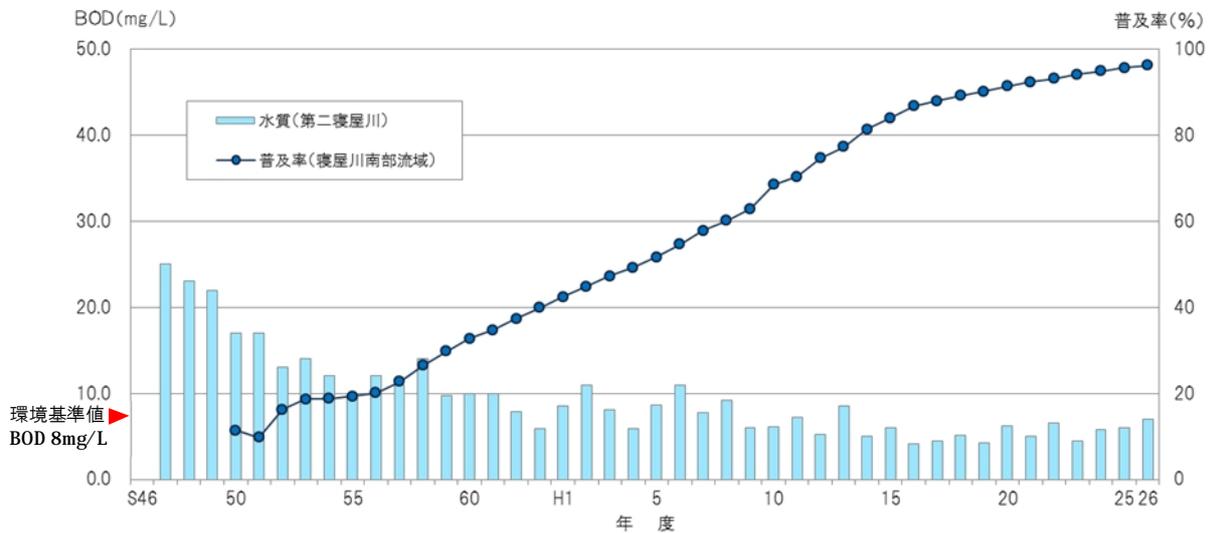
### 淀川左岸流域（寝屋川 萱島橋）



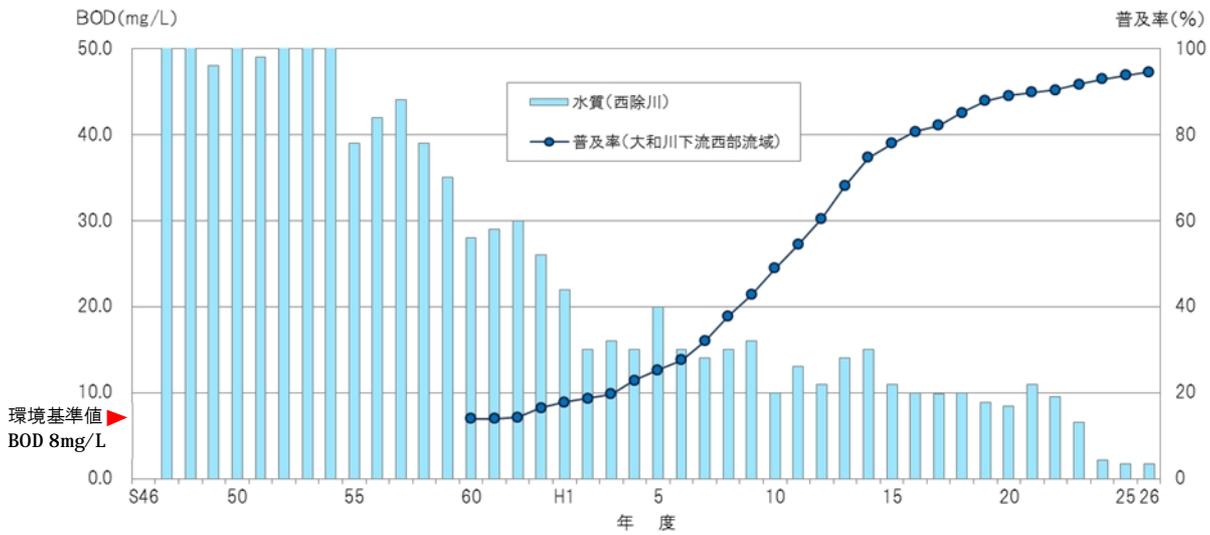
### 寝屋川北部流域（寝屋川 今津橋）



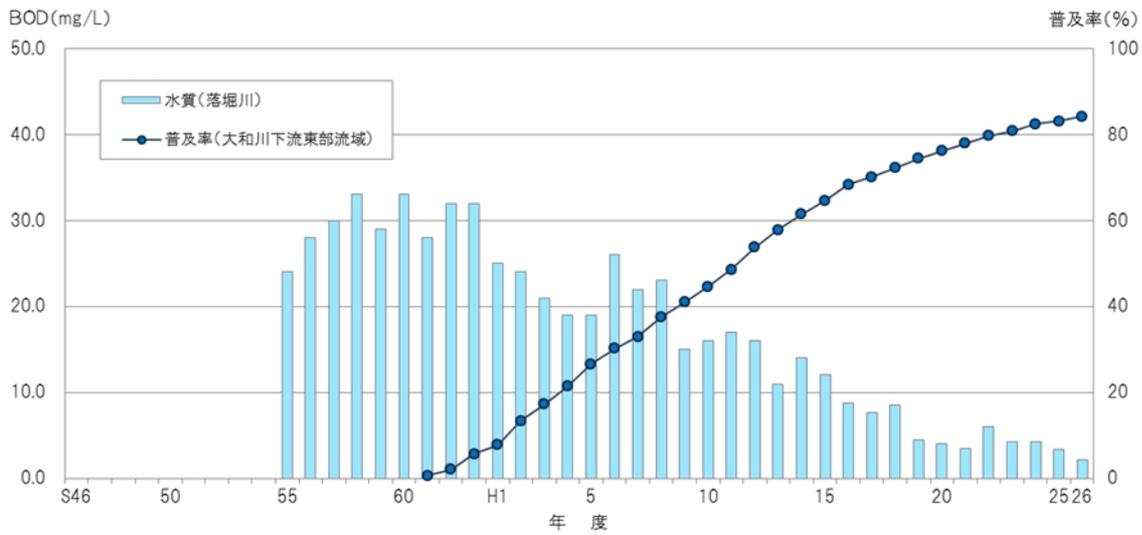
### 寝屋川南部流域（第二寝屋川 新金吾郎橋）



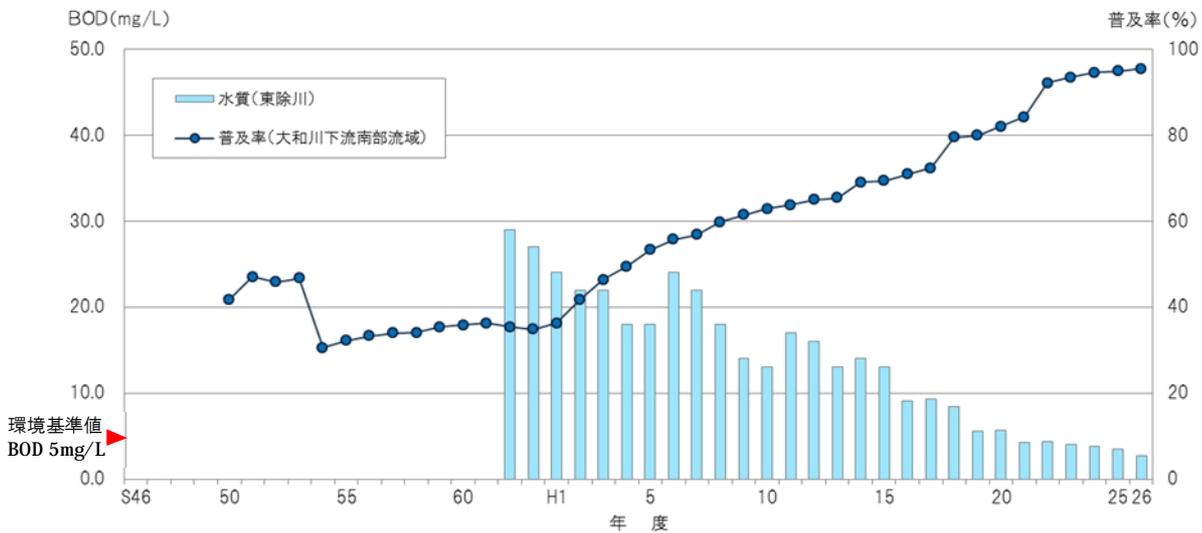
### 大和川下流西部流域（西除川 大和川合流直前）



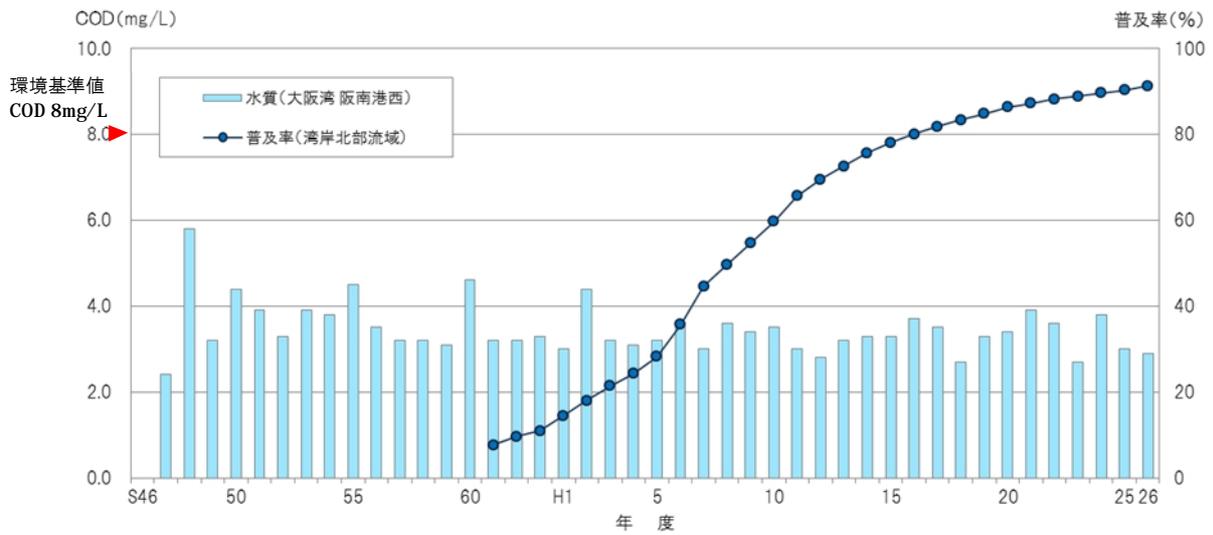
### 大和川下流東部流域（落堀川 東除川合流直前）



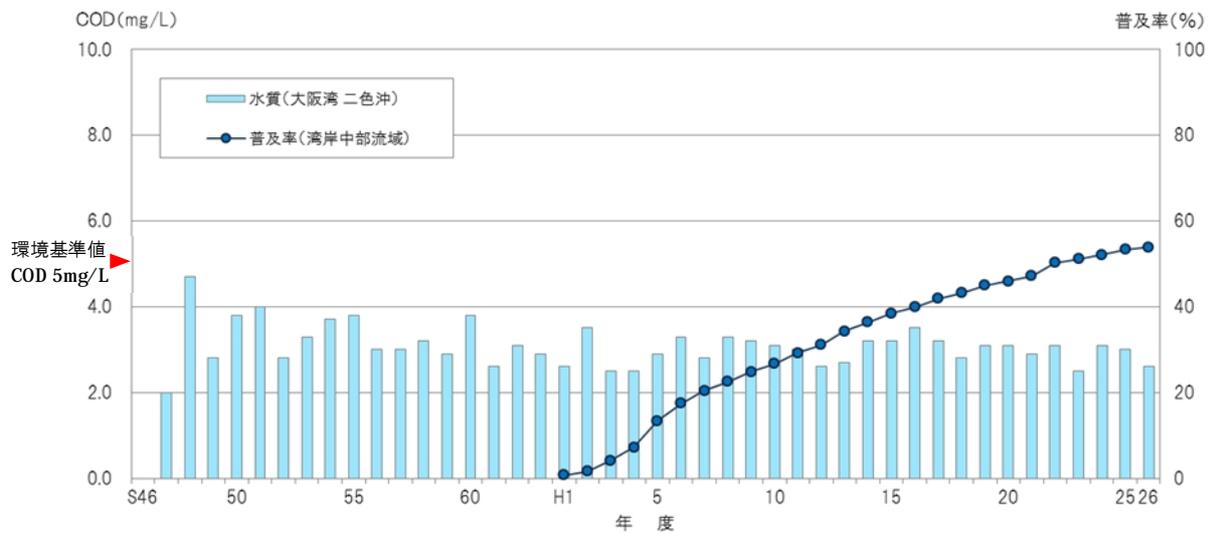
### 大和川下流南部流域（東除川 明治小橋）



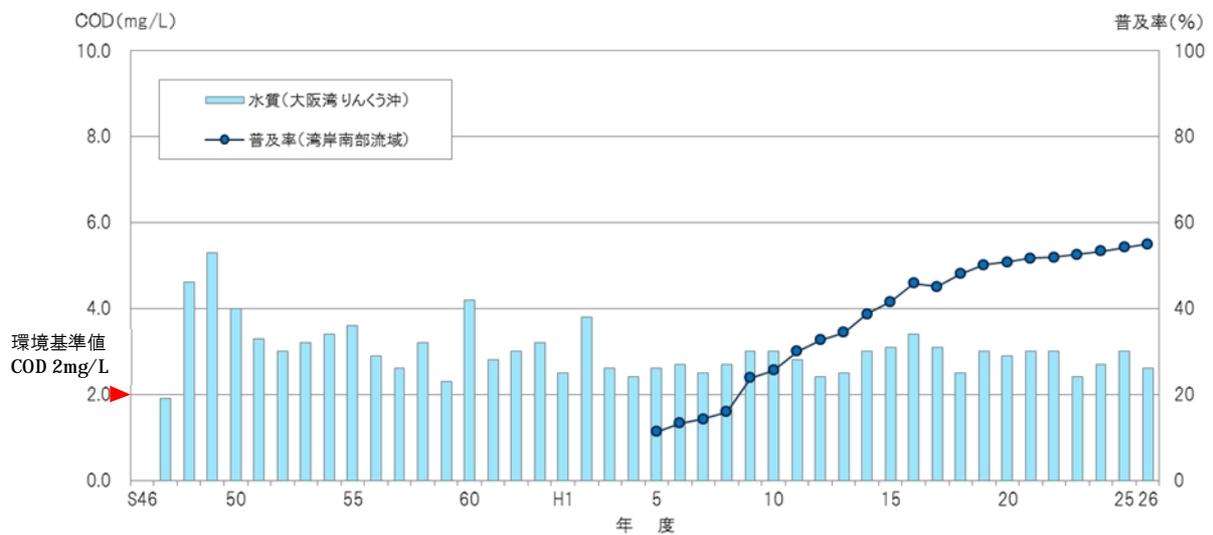
### 大阪湾(1) (阪南港西)



### 大阪湾(2) (二色沖)



### 大阪湾(3) (りんくう沖)





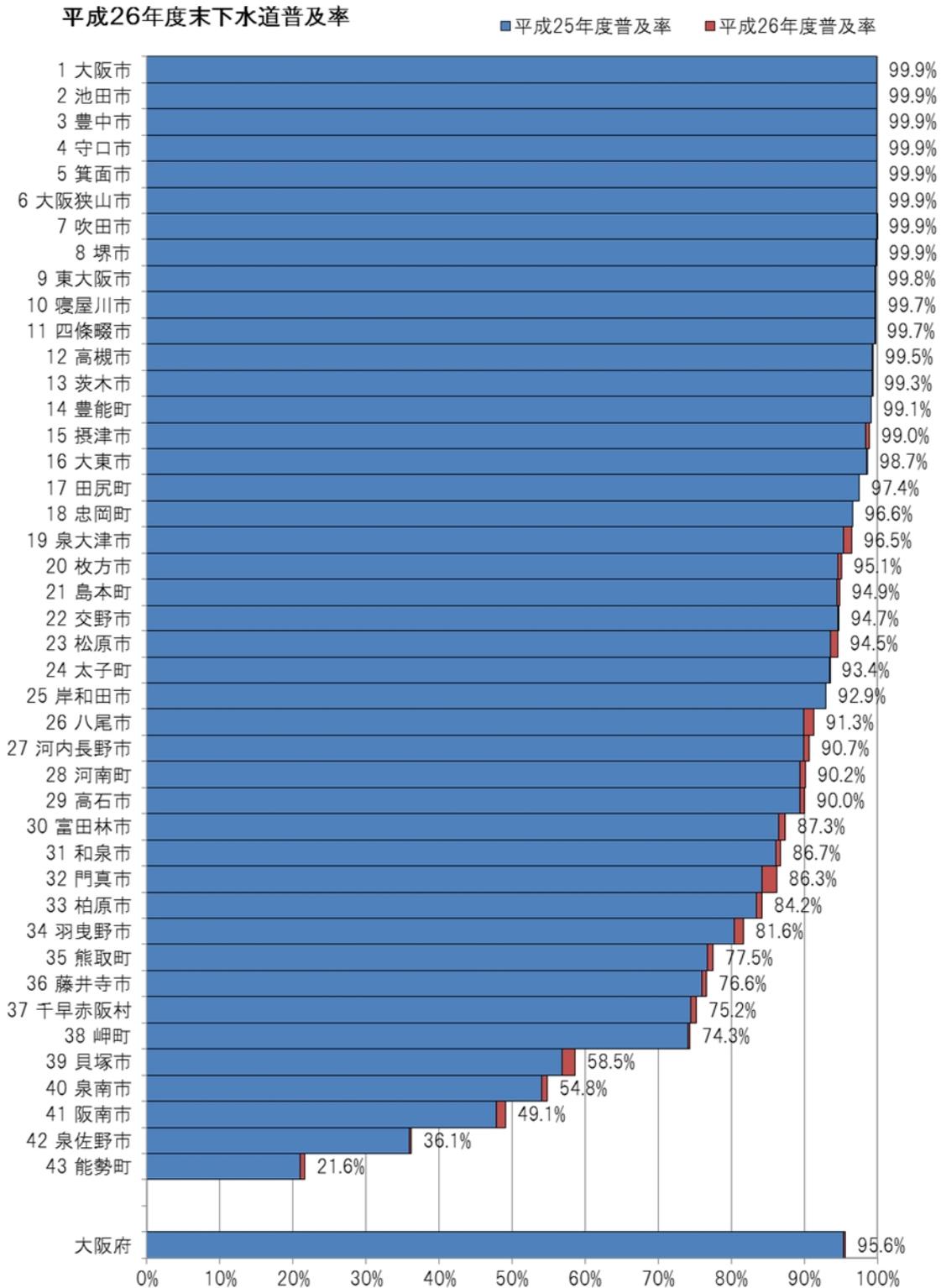
H7	H12	H18	H20	H27現在
		都市整備部	都市整備部	都市整備部
	下水道課		下水道室	下水道室
	総務グループ	改革推進G	経営企画課	経営企画課
			経営グループ	経営グループ
	計画グループ		事業課	事業課
リサイクル推進	リサイクル推進		計画グループ	計画グループ
	事業グループ		建設グループ	建設グループ
	設備		維持管理グループ	維持管理グループ
	指導グループ - 管理グループ			
	公共下水道			
	維持管理			
	東部防流域下水道事務所		東部防流域下水道事務所	東部防流域下水道事務所
	総務課		総務企画課	総務企画課
			総務グループ	総務グループ
			企画グループ	企画グループ
	建設課		建設課	建設課
			工務グループ	工務グループ
			豊島工区	豊島工区
	施設課		施設課	施設課
			設備第一グループ	設備第一グループ
			設備第二グループ	設備第二グループ
			維持管理課	維持管理課
			管理グループ	管理グループ
			清管理センター	清管理センター
			鴻世管理センター	鴻世管理センター
			川俣管理センター	川俣管理センター
	北部防流域下水道事務所		北部防流域下水道事務所	北部防流域下水道事務所
	総務課		総務企画課	総務企画課
			総務グループ	総務グループ
			企画グループ	企画グループ
	建設課		建設課	建設課
豊能工区			工務グループ	工務グループ
			設備グループ	設備グループ
	施設課		維持管理課	維持管理課
			管理グループ	管理グループ
			中央管理センター	中央管理センター
			高槻管理センター	高槻管理センター
	南部防流域下水道事務所		南部防流域下水道事務所	南部防流域下水道事務所
	総務課		総務企画課	総務企画課
			総務グループ	総務グループ
			企画グループ	企画グループ
	建設課		建設課	建設課
			工務グループ	工務グループ
長野工区			設備グループ	設備グループ
			大和川工区	大和川工区
	施設課		維持管理課	維持管理課
			管理グループ	管理グループ
	南大阪湾岸流域下水道事務所		→ 南部下水へ	今池管理センター
	総務課			大井管理センター
				狭山管理センター
	建設課			湾岸北部管理センター
淡輪工区				湾岸中部管理センター
	施設課			湾岸南部管理センター

## 公共下水道のあゆみ

年	事業着手	供用開始	特記事項
明治 27 年(1884 年) 大正 14 年(1925 年) 昭和 15 年(1940 年) 昭和 24 年(1949 年)	大阪市 東大阪市	大阪市で通水開始	大阪市で処理実験開始
昭和 25 年(1950 年) 昭和 26 年(1951 年)			
昭和 27 年(1952 年) 昭和 28 年(1953 年)	守口市、豊中市、 堺市、岸和田市 池田市		
昭和 29 年(1954 年) 昭和 30 年(1955 年) 昭和 31 年(1956 年) 昭和 32 年(1957 年)			
昭和 33 年(1958 年) 昭和 34 年(1959 年)	枚方市 吹田市	枚方市	
昭和 35 年(1960 年) 昭和 36 年(1961 年)	高槻市、八尾市	堺市	
昭和 37 年(1962 年) 昭和 38 年(1963 年)	茨木市		
昭和 39 年(1964 年) 昭和 40 年(1965 年)	富田林市、 泉大津市 摂津市		排水面積普及率で 30%突破 流域下水道事業着手
昭和 41 年(1966 年)		豊中市、吹田市、 守口市	
昭和 42 年(1967 年)	箕面市、門真市、 交野市、 高石市(泉北組合)	岸和田市、池田市、 富田林市	
昭和 43 年(1968 年)	大阪狭山市	箕面市、東大阪市、 交野市	処理面積普及率が指標に加わり 31.0% に
昭和 44 年(1969 年)	寝屋川市、大東市、 貝塚市	高槻市	
昭和 45 年(1970 年)	松原市	茨木市、 大阪狭山市	大阪で万国博覧会
昭和 46 年(1971 年)	四條畷市、柏原市		
昭和 47 年(1972 年)	藤井寺市	寝屋川市、大東市、 門真市、 高石市(泉北組合)	
昭和 48 年(1973 年)	和泉市	泉大津市、八尾市	処理面積普及率で 40%突破(40.4%)
昭和 49 年(1974 年)	島本町、 河内長野市、 忠岡町	摂津市	普及率の指標が人口普及率に処理人 口 383 万人、普及率 46.9%
昭和 50 年(1975 年)	(美原町)		府内の処理人口が 400 万人越す
昭和 51 年(1976 年) 昭和 52 年(1977 年)	羽曳野市		普及率が 50%を突破(50.6%)
昭和 53 年(1978 年) 昭和 54 年(1979 年) 昭和 55 年(1980 年)		和泉市	

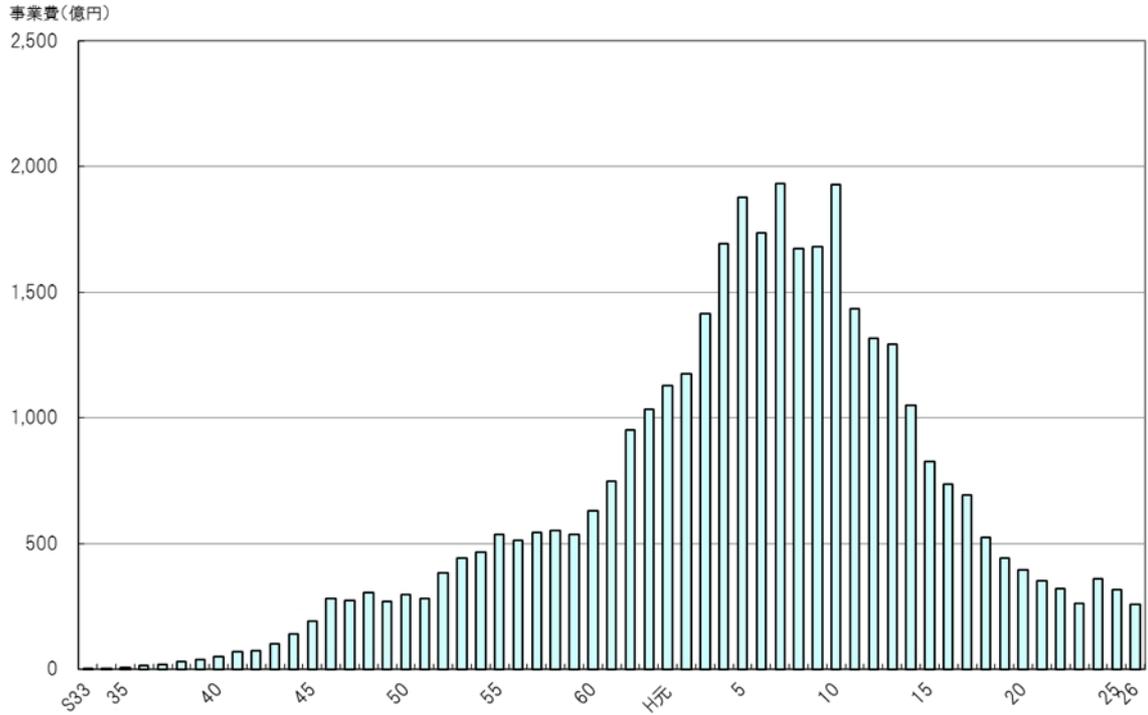
年	事業着手	供用開始	特記事項
昭和 56 年(1981 年)	豊能町		府内の処理人口が 450 万人越す
昭和 57 年(1982 年)			
昭和 58 年(1983 年)			普及率が 55%を突破(55.4%)
昭和 59 年(1984 年)		豊能町	
昭和 60 年(1985 年)		松原市	府内の処理人口が 500 万人越す
昭和 61 年(1986 年)	泉佐野市	四條畷市、藤井寺市	
昭和 62 年(1987 年)	泉南市、田尻町	忠岡町	普及率が 60%を突破(60.0%)
昭和 63 年(1988 年)	河南町、熊取町、阪南市	羽曳野市、(美原町)	
平成元年(1989 年)	太子町、岬町	貝塚市、柏原市	府内の処理人口が 550 万人越す
平成 2 年(1990 年)		島本町、河内長野市、	普及率が 65%を突破(65.1%) 大阪で花と緑の博覧会が開催
平成 3 年(1991 年)		泉佐野市、熊取町	
平成 4 年(1992 年)			
平成 5 年(1993 年)	能勢町、千早赤阪村	太子町、田尻町、泉南市、阪南市、河南町	普及率が 70%を突破(70.4%) 府内の処理人口が 600 万人越す 全市町村下水道事業着手
平成 6 年(1994 年)		岬町	関西国際空港開港
平成 7 年(1995 年)			府内の処理人口が 650 万人越す
平成 8 年(1996 年)			普及率が 75%を突破(76.4%)
平成 9 年(1997 年)		千早赤阪村	
平成 10 年(1998 年)			普及率が 80%を突破(80.5%) 府内の処理人口が 700 万人越す
平成 11 年(1999 年)			
平成 12 年(2000 年)			府内の処理人口が 750 万人越す
平成 13 年(2001 年)		能勢町	全市町村供用開始（全国初） 普及率が 85%を突破(86.3%)
平成 14 年(2002 年)			
平成 15 年(2003 年)			事業団よりエース事業が移管
平成 16 年(2004 年)			流域汚泥処理事業の開始 普及率が 90%を突破(90.1%)
平成 17 年(2005 年)			
平成 18 年(2006 年)			処理場名称を水みらいセンターへ変更
平成 19 年(2007 年)			
平成 20 年(2008 年)			流域下水道一元化
平成 21 年(2009 年)			
平成 22 年(2010 年)			
平成 23 年(2011 年)			
平成 24 年(2012 年)			普及率が 95%を突破(95.0%)
平成 25 年(2013 年)			
平成 26 年(2014 年)			
平成 27 年(2015 年)			流域下水道 50 周年

## 大阪府内市町村別下水道普及率

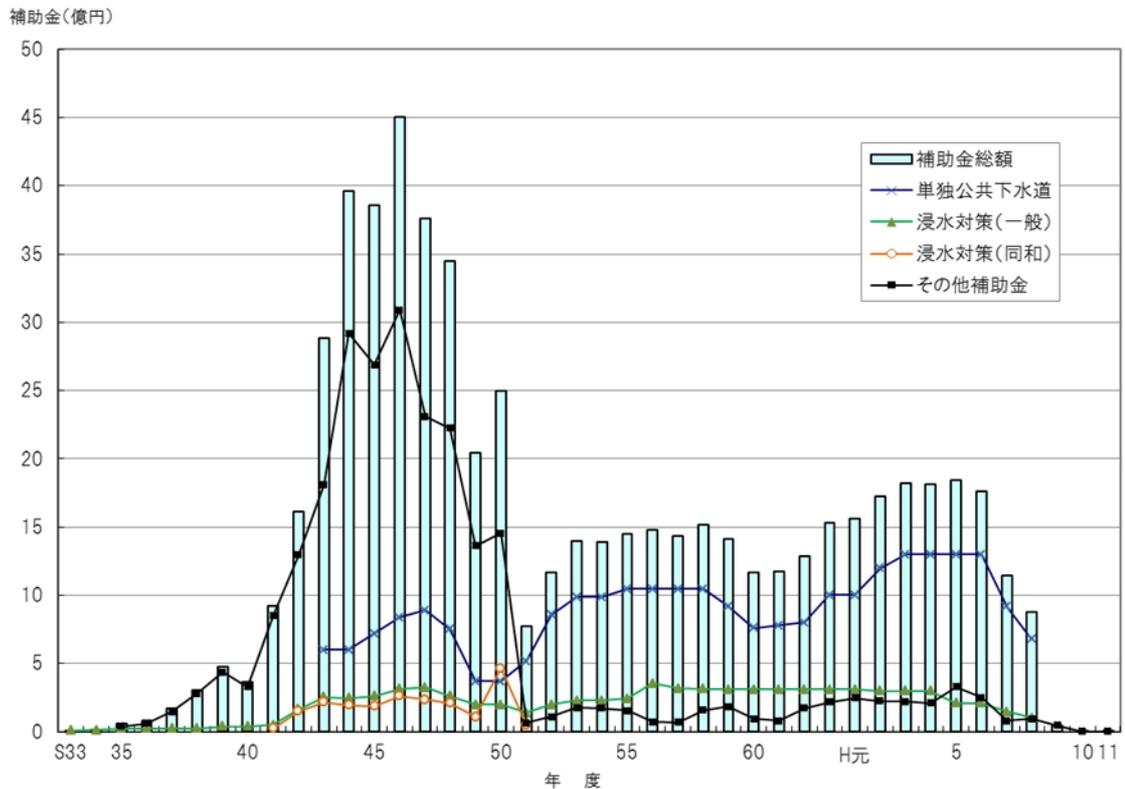


# 大阪府内市町村の下水道事業費の推移

## ▶ 大阪府内市町村の下水道事業費の推移

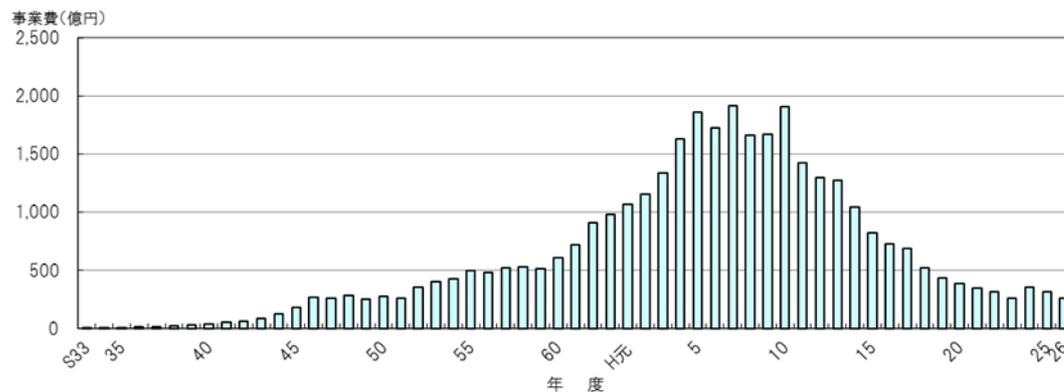


## ▶ 府補助金の推移

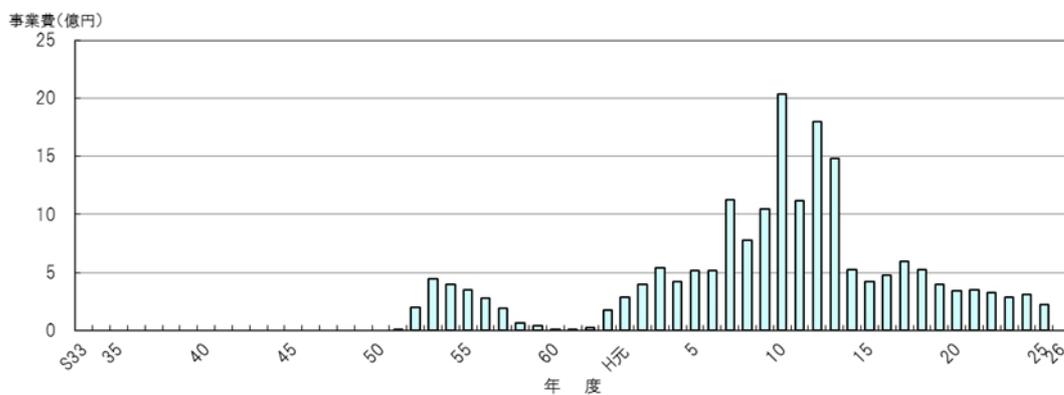


## ▶ 各下水道事業費の内訳

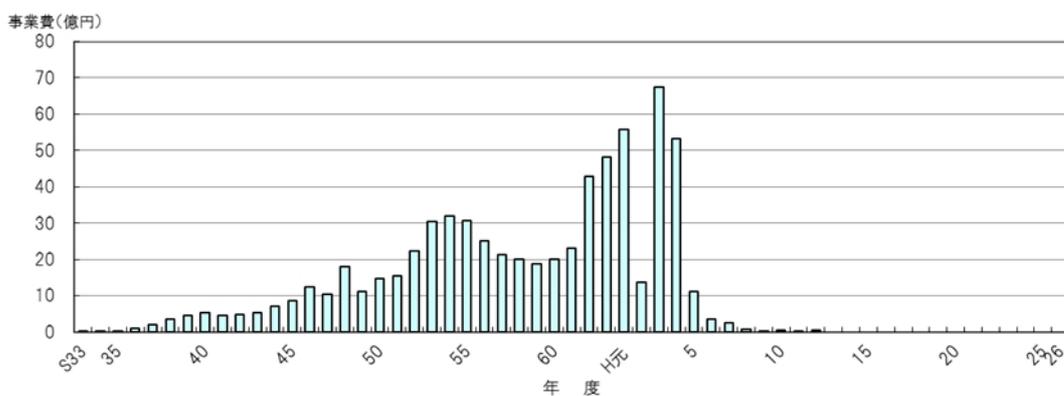
### 公共下水道



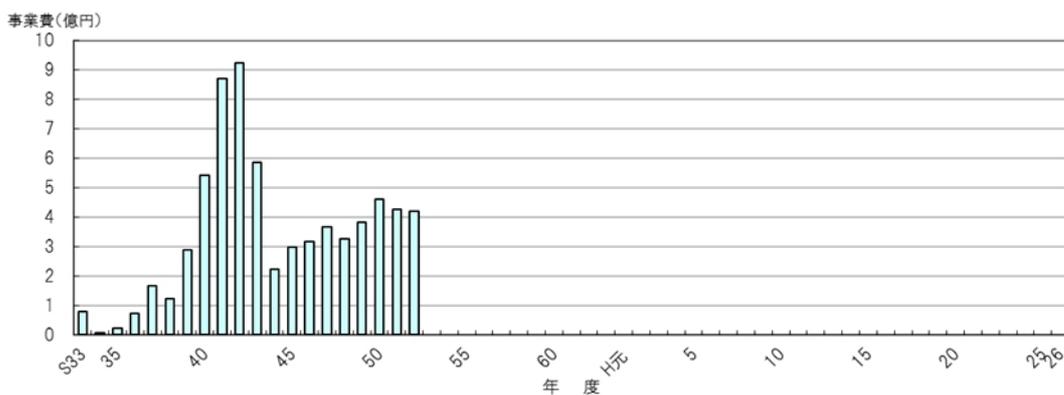
### 特定環境保全公共下水道



### 都市下水路



### 特定公共下水道



## 大阪府の下水道を彩った歌

東大阪市職員が中心となり結成されたフォークグループ「バガボンズ」と、その活動に触発され、府職員により結成された「コスモスローズバンド」は、下水道をテーマとした歌の演奏を通じて、独創的なPR活動を実施しています。流域下水道 50 周年記念シンポジウムでは、50 周年を記念して制作された『Ms.MIRAI- II (水みらい II)』が披露されました。

### 21COSMOS

詞／細川 光司 曲／藤田 智

この街は水の都 多くの人が川と生きた  
幼いころ トンボやホタルをおいかけたことも  
でも今は 灰色の川  
取り戻そう 命ある川を  
夢見よう あのかの川の川を

**21COSMOS For my Life**

**21COSMOS For your Life**

この国は海の国 多くの人が海と生きた  
幼いころ なぎさで友と遊んだことも  
でも今は 灰色の海  
取り戻そう 命ある海を  
夢見よう あのかの海を

**21COSMOS For my Life**

**21COSMOS For my Life**

この地球は水の星 多くの命が水と生きる  
アマゾン ヒマラヤ かけがえのない命  
でも今は 酸性の雨  
取り戻そう 命ある水を  
この地球（ほし）の仲間のために

**21COSMOS For my Life**

**21COSMOS For my Life**

### 水辺をひろげよう

詞／小池 哲夫 曲／小池 哲夫

水辺をひろげよう うるおいひろげよう  
乾いたこの街に 愛をひろげよう

とんぼや モロコや たにしや えびもいた  
みんなで 遊んだ 水辺を 取り戻そう

水辺をひろげよう うるおいひろげよう  
乾いたこの街に 愛をひろげよう

田んぼを 開いた 舟が ゆきかた  
暮らしを 支えた 水辺は どこへいった

水辺をひろげよう うるおいひろげよう  
乾いたこの街に 愛をひろげよう

みどり もえる 木々の かげうつす  
澄みきった 安らぎの 水辺よ よみがえれ

水辺をひろげよう うるおいひろげよう  
乾いたこの街に 愛をひろげよう

## Ms. MIRAI

### ～大阪府・水みらいセンターのうた～

詞／小池 哲夫 曲／小池 哲夫

あなたと 出会ったこと 私は忘れないでしょう  
灰色だった川を 親しい場所に変えた  
あなたが私にくれた 幸せを忘れないでしょう  
トンボや魚たちとともに 川が戻ってきたこと

**Ms.MIRAI** 今こそ **Ms.MIRAI** かがやけ

**Ms.MIRAI** 私たちの **Ms.MIRAI** あしたへ

あなたと 歩んだこと 私は忘れないでしょう  
近くて遠かった海を 行きたい場所に変えた  
あなたがみんなにくれた うるおいを忘れないでしょう  
人々のところをつなぐ 海が戻ってきたこと

**Ms.MIRAI** 今こそ **Ms.MIRAI** かがやけ

**Ms.MIRAI** 私たちの **Ms.MIRAI** あしたへ

あなたと 歩む道を 私は忘れないでしょう  
乾いたこの街を 愛おしい場所に変える  
あなたにわたしから贈る 大きな素敵な夢  
子どもたちのほほえみ 結び合う青い水の星

**Ms.MIRAI** 今こそ **Ms.MIRAI** かがやけ

**Ms.MIRAI** 私たちの **Ms.MIRAI** あしたへ



流域下水道 50 周年記念シンポジウムでの演奏の様子

## Ms. MIRAI II

### ～大阪府・水みらいセンターのうたII～

詞／小池 哲夫 曲／小池 哲夫

どこへいくの 使った水は  
どこへいくの 流した水は  
どこへいくの 汚した水は  
道端には 丸いふたが 見えるだけだけど

あたりまえのように 暮らしを守り  
あたりまえのように 暮らしを支え  
あたりまえのように 水辺をつくる  
あたりまえのように 水みらい (**Ms.MIRAI**)

どこへいくの 降った雨は  
どこへいくの ますやみぞから  
どこへいくの 溢れもせずに  
道端には 黒いふたが 見えるだけだけけれど

あたりまえのように 暮らしを守り  
あたりまえのように 暮らしを支え  
あたりまえのように 洪水防ぐ  
あたりまえのように 水みらい (**Ms.MIRAI**)

丸いふたの向こうに 黒いふたの向こうに  
住みよい街をつくる  
水みらい (**Ms.MIRAI**) がいるの

たゆみなく 働き続ける たゆみなく 歩みつづける

あたりまえのように 暮らしを守り  
あたりまえのように 暮らしを支え  
あたりまえのように あしたへつなぐ  
あたりまえのように 水みらい (**Ms.MIRAI**)  
ラララ...

あたりまえのように あしたへつなぐ  
あたりまえのように 水みらい (**Ms.MIRAI**)  
あしたへつなぐ 水みらい (**Ms.MIRAI**)





平成 28 年 3 月